



## 平成28年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ザッパラス

コード番号 3770 URL <http://www.zappallas.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 川嶋 真理

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小林 真人

TEL 03-6434-1036

四半期報告書提出予定日 平成27年12月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年4月期第2四半期の連結業績(平成27年5月1日～平成27年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第2四半期	3,029	△19.6	170	△28.1	196	△39.2	365	73.2
27年4月期第2四半期	3,769	△3.3	236	△11.8	323	28.2	211	33.4

(注) 包括利益 28年4月期第2四半期 233百万円 (16.2%) 27年4月期第2四半期 201百万円 (△4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第2四半期	28.74	—
27年4月期第2四半期	16.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年4月期第2四半期	9,436	8,558	90.7	672.16
27年4月期	10,168	8,490	83.1	663.78

(参考) 自己資本 28年4月期第2四半期 8,558百万円 27年4月期 8,451百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年4月期	—	0.00	—	—	—
28年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年4月期の期末配当は未定です。

### 3. 平成28年4月期の連結業績予想(平成27年5月1日～平成28年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	7,450	△1.7	0	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益の業績予想につきましては、現時点で合理的な算定が困難であるため記載しておりません。詳細は、決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年4月期2Q	13,651,000 株	27年4月期	13,651,000 株
28年4月期2Q	918,500 株	27年4月期	918,500 株
28年4月期2Q	12,732,500 株	27年4月期2Q	12,732,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱さが見られるものの、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなどが、景気を下押しするリスクとなっております。

モバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、平成27年3月末の国内スマートフォン(\*1)契約数は6,850万件で、携帯電話端末契約数全体の54.1%と過半数にまで達しており、スマートフォンの普及が続いております。

(\*2)

このような中、当社グループでは増加するスマートフォンユーザーを取り込むべく新たな集客の仕組みづくりに努めるほか、当社の主要顧客層(20代~40代の女性)のニーズに合致した商品ラインナップの拡充に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続きキャリア公式サイトの売上高が減少したことに加え、株式会社ビーバイイーの株式譲渡により当社が連結子会社でなくなったことから、売上高が前年同期比で減少いたしました。一方、関係会社株式売却損やのれん減損損失等特別損失の計上があったものの、株式会社caramoの株式譲渡による関係会社株式売却益や投資有価証券売却益の特別利益の計上により親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,029,895千円(前年同期比19.6%減)、営業利益170,305千円(前年同期比28.1%減)、経常利益196,881千円(前年同期比39.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益365,899千円(前年同期比73.2%増)となりました。

\*1:iPhoneやAndroidに代表される、パソコンと同等の機能を持ち合わせた多機能携帯端末のこと。

\*2:株式会社MM総研「スマートフォン契約数及び端末別の月額利用料金・通信量(2015年3月)」平成27年6月11日発表の報道資料より引用

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## ①モバイルサービス事業

<占い>

主力の占いサービスにおいては、幅広いユーザーに対応したサービスを提供すべく、新たな形式の占いサービスの企画開発や既存サービスの改善に取り組んでまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、既存占いサイトのリニューアルの実施やライトユーザー向け占いアプリの企画開発に注力してまいりました。しかしながら、既存のキャリア公式サイト売上高の減少により全体としては前年同期比で売上高が減少いたしました。

<ゲーム>

ストーリーに特化したドラマゲームアプリシリーズ「six doubts」については、既存2タイトルの改善を進めるとともに、新規タイトルの制作に取り組んでまいりました。また、「物語×音楽×知育」をテーマにした新たなゲームの制作も進めており、今後タイトルが揃い次第、積極的にプロモーションをかけていく予定です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,964,285千円(前年同期比16.9%減)、セグメント利益は406,265千円(前年同期比45.8%減)となりました。

## ②海外事業

海外事業につきましては、米国に拠点を置く当社子会社であるZappallas, Inc. (U.S.)が占いコンテンツビジネスを展開しております。売上高につきましては為替の影響があり前年同期比で増加いたしました。利益面につきましては当社の効率的なコンテンツ運営ノウハウの投入や、コスト構造の見直しにより、セグメント損失が減少しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は268,789千円(前年同期比19.2%増)、セグメント損失は14,707千円(前年同期は90,166千円のセグメント損失)となりました。

## ③その他の事業

その他の事業につきましては、モバイルサイト開発運営受託業務やオンラインショッピングサイトの運営のほか、株式会社PINKにおいて旅行業務を行っております。

売上高につきましては、当第2四半期連結累計期間において、受託業務の売上増加等もありましたが、株式会社ビーバイイー株式の譲渡により同社が連結子会社でなくなったことから、前年同期比で減少しております。セグメント利益につきましては上記株式譲渡に加え、前連結会計年度末における一部コマースサイトの売却によるコストの減少や、受託業務及びオンラインショッピングサイトの売上増加により、セグメント利益が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は797,973千円(前年同期比32.4%減)、セグメント利益は11,645千円(前年同期は196,905千円のセグメント損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して732,271千円減少し、9,436,480千円となりました。その主な要因は、売掛金の減少額273,212千円、商品及び製品の減少額130,101千円、投資有価証券の減少額171,490千円、長期繰延税金資産(四半期連結貸借対照表上は「その他」で表示)の減少額127,084千円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して799,882千円減少し、878,208千円となりました。その主な要因は、買掛金の減少額189,664千円、未払金の減少額121,287千円、未払法人税等の減少額172,159千円、返品調整引当金の減少額66,287千円、長期借入金の減少額140,746千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して67,611千円増加し、8,558,272千円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加額238,574千円、投資有価証券の売却等によるその他有価証券評価差額金の減少額106,353千円、為替換算調整勘定の減少額25,553千円、非支配株主持分の減少額39,057千円によるものであります。

なお、株式会社ビーバイイー株式の譲渡により、同社が連結子会社でなくなったことから、流動資産476,034千円、固定資産43,444千円、流動負債323,057千円、固定負債70,742千円がそれぞれ減少しております。

また、株式会社caramo株式の譲渡により、同社が連結子会社でなくなったことから、流動資産89,709千円、固定資産8,858千円、流動負債88,898千円がそれぞれ減少しております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して246,826千円増加し、5,784,392千円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、120,642千円(前年同期比81.0%減)となりました。その主な要因は、減価償却費72,177千円、のれん償却額103,741千円、売上債権の減少額6,619千円、たな卸資産の減少額30,675千円、仕入債務の増加額10,624千円、法人税等の支払額156,891千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、331,851千円(前年同期は50,119千円の減少)となりました。その主な要因は、無形固定資産の取得による支出50,397千円、投資有価証券の売却による収入154,129千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入255,077千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出24,860千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、208,578千円(前年同期比44.1%減)となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による支出80,000千円、配当金の支払額128,578千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年7月31日付開示の「子会社の異動(株式譲渡)及び特別利益の発生に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、株式会社caramoの株式譲渡に伴い、売上高及び営業利益が減少する見込みであります。本件が与える影響は軽微であるため、現時点では平成27年6月12日の「平成27年4月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。また、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益の業績予想につきましては、現時点で合理的な算定が困難であるため記載していませんが、当第2四半期連結累計期間において、関係会社株式売却益235百万円、投資有価証券売却益154百万円の特別利益が発生しております。今後、他の要因も含めて精査する中で、修正が必要と判断された場合には速やかにお知らせいたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,233,793	5,480,596
売掛金	1,182,784	909,572
有価証券	504,315	504,419
商品及び製品	138,308	8,206
仕掛品	36,568	60
原材料及び貯蔵品	16,363	461
短期貸付金	7,853	7,892
未収還付法人税等	1,745	8,161
その他	162,301	107,618
貸倒引当金	△6,664	△5,263
流動資産合計	7,277,369	7,021,727
固定資産		
有形固定資産	89,332	72,074
無形固定資産		
ソフトウェア	98,159	88,955
のれん	1,576,350	1,457,952
その他	39,047	42,711
無形固定資産合計	1,713,557	1,589,619
投資その他の資産		
投資有価証券	646,363	474,872
長期貸付金	29,477	25,521
その他	437,222	277,238
貸倒引当金	△24,572	△24,572
投資その他の資産合計	1,088,491	753,060
固定資産合計	2,891,381	2,414,753
資産合計	10,168,751	9,436,480
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	348,527	158,862
未払金	333,153	211,865
1年内返済予定の長期借入金	193,838	160,000
未払法人税等	179,077	6,918
ポイント引当金	10,624	78
返品調整引当金	66,287	—
その他	205,693	140,483
流動負債合計	1,337,201	678,208
固定負債		
長期借入金	340,746	200,000
その他	144	—
固定負債合計	340,890	200,000
負債合計	1,678,091	878,208

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,476,343	1,476,343
資本剰余金	1,401,718	1,401,718
利益剰余金	6,760,916	6,999,490
自己株式	△1,418,644	△1,418,644
株主資本合計	8,220,334	8,458,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,409	56
為替換算調整勘定	124,859	99,306
その他の包括利益累計額合計	231,269	99,363
非支配株主持分	39,057	—
純資産合計	8,490,660	8,558,272
負債純資産合計	10,168,751	9,436,480

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
売上高	3,769,063	3,029,895
売上原価	1,561,181	1,259,889
売上総利益	2,207,881	1,770,005
返品調整引当金繰入額	33,513	—
返品調整引当金戻入額	17,049	—
差引売上総利益	2,191,418	1,770,005
販売費及び一般管理費	1,954,608	1,599,700
営業利益	236,810	170,305
営業外収益		
受取利息	865	1,026
為替差益	88,356	25,539
貸倒引当金戻入額	2,294	726
その他	2,334	5,686
営業外収益合計	93,851	32,978
営業外費用		
支払利息	2,051	1,569
投資事業組合投資損失	4,709	4,735
その他	5	97
営業外費用合計	6,766	6,402
経常利益	323,895	196,881
特別利益		
固定資産売却益	32	—
投資有価証券売却益	—	154,129
関係会社株式売却益	—	235,817
特別利益合計	32	389,946
特別損失		
固定資産除売却損	76	7
関係会社株式売却損	—	17,709
事業撤退損	2,897	—
減損損失	—	13,333
特別損失合計	2,973	31,050
税金等調整前四半期純利益	320,954	555,776
法人税、住民税及び事業税	149,481	△3,529
法人税等調整額	△15,971	193,407
法人税等合計	133,509	189,877
四半期純利益	187,444	365,899
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,778	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	211,223	365,899

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
四半期純利益	187,444	365,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,165	△106,353
為替換算調整勘定	18,178	△25,553
その他の包括利益合計	14,012	△131,906
四半期包括利益	201,456	233,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,235	233,993
非支配株主に係る四半期包括利益	△23,778	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	320,954	555,776
減価償却費	123,712	72,177
長期前払費用償却額	7,093	7,033
のれん償却額	116,110	103,741
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,935	△726
返品調整引当金の増減額(△は減少)	16,463	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,639	2,407
受取利息	△865	△1,026
支払利息	2,051	1,569
為替差損益(△は益)	△88,356	△25,539
固定資産除売却損益(△は益)	76	7
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△154,129
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△218,107
投資事業組合運用損益(△は益)	4,709	4,735
減損損失	—	13,333
事業撤退損	2,897	—
売上債権の増減額(△は増加)	495,471	6,619
たな卸資産の増減額(△は増加)	△95,917	30,675
仕入債務の増減額(△は減少)	△111,574	10,624
未払金の増減額(△は減少)	△49,532	△77,397
未払消費税等の増減額(△は減少)	27,424	△57,189
その他	△24,202	3,530
小計	746,218	278,117
利息の受取額	785	945
利息の支払額	△1,864	△1,528
法人税等の支払額	△127,205	△156,891
法人税等の還付額	17,029	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	634,963	120,642
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,427	△14,033
無形固定資産の取得による支出	△48,570	△50,397
投資有価証券の売却による収入	—	154,129
投資有価証券の清算による収入	—	7,600
差入保証金の差入による支出	—	△9,300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	255,077
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△24,860
事業譲渡による収入	—	9,720
貸付金の回収による収入	3,877	3,916
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,119	331,851
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△91,976	△80,000
配当金の支払額	△280,954	△128,578
その他	△216	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373,146	△208,578
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,439	2,910
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	224,136	246,826
現金及び現金同等物の期首残高	4,880,498	5,537,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,104,635	5,784,392

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成26年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	モバイル サービス 事業	海外事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,363,702	225,434	2,589,137	1,179,926	3,769,063	—	3,769,063
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,363,702	225,434	2,589,137	1,179,926	3,769,063	—	3,769,063
セグメント利益又はセグメント損失(△)	749,957	△90,166	659,791	△196,905	462,886	△226,075	236,810

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コマース関連事業及び受託業務並びに旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	モバイルサービス事業	海外事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,963,237	268,789	2,232,027	797,868	3,029,895	—	3,029,895
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,047	—	1,047	105	1,153	△1,153	—
計	1,964,285	268,789	2,233,075	797,973	3,031,048	△1,153	3,029,895
セグメント利益又はセグメント損失(△)	406,265	△14,707	391,558	11,645	403,203	△232,897	170,305

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コマース関連事業及び受託業務並びに旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループは中核事業に優先的に経営資源を集中させていくという方針のもとグループ戦略の見直しにより組織変更を行っております。これにより、当社グループの企業活動の実態に即したより適切な経営情報の開示を行うため、報告セグメントを従来の「コンテンツ事業」、「コマース関連事業」及び「海外事業」の3区分から、「モバイルサービス事業」及び「海外事業」の2区分に変更しております。

「モバイルサービス事業」は、主にモバイルデバイスを通じて提供する占い・ゲーム等デジタルコンテンツの企画制作・開発・運営並びに電話占い等、占い関連サービスの提供のほか、メディアサイトの運営やその他モバイル関連サービスの提供を行っております。「海外事業」は、米国に拠点を置く当社子会社が占いサイトの運営を行っております。また、従来の報告セグメントでは「その他」に含めておりました一部占い受託業務等を「モバイルサービス事業」に含めるよう変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。